

科目名	文化と心理						
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n) を参照				
開講期	春／秋	開講学部等	共通教育科目	配当年次	1 年次	単位数	2 単位
教員名	中村 飛鳥						

授業概要／Course outline

文化という視点を通して、心理学の入門的な知識と研究法について講義する。
心理学は「人間が関係することがらすべて」を対象とし、より普遍的な姿を描こうとする一方、文化は人間がさまざまな状況でいかに行動し、いかに考え、そしていかに感じるかを方向付けており、多様性を生み出す。
この授業では、人間が共通に持つ普遍的側面と、社会の中で獲得し培われる文化的側面を「文化と心理学」という領域から考えていく。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

・ICTを活用した授業（形態：クリッカー、タブレット端末、スマートフォン等を活用した双方向型授業／遠隔教育（ビデオ・オン・デマンド等））

授業の中でGoogle Formを使用して質問紙調査等を行い、即時フィードバックを行う。

オンデマンド授業は、Moodleにて提示する。

授業内容・授業計画／Course description・plan

本授業で行う講義は以下の通りである。またテーマについては順序。内容等に変更の場合があるが、その場合はMoodleで告知をする。

第1回 テーマ：年間スケジュールと授業概要とイントロダクション

講義の流れ、授業の受け方について説明する。

第2回 テーマ：記憶 ～覚えること 忘れること～

日常生活の中から記憶と想起に関する体験を取り上げ、人間の記憶とそのメカニズムを解説する。

第3回 テーマ：性格 ～あなたはどんな人～（１）

人間の性格に関する理論（主に類型論・特性論）を紹介し、質問紙法による性格検査を体験することを通して、各人が自己の性格を見つめ直す。

第4回 テーマ：性格 ～あなたはどんな人～（２）

人間の性格に関する理論（主に投影法）を紹介し、質問紙法による性格検査を体験することを通して、各人が自己の性格を見つめ直す。

第5回 テーマ：発達（１）～赤ちゃんの能力～

人間の発達に影響するとされてきた遺伝や環境の要因について解説し、発達を支えるものの見取り図を示す。

第6回 テーマ：発達（２）～こどもから大人へ～

発達過程のうち、感情的側面の発達に焦点を当てて解説し、健やかな発達のためにはまわりの人々との交流が重要であることを示す。

第7回 テーマ：対人認知 ～あの人はこんな人～

人が他者を理解するメカニズムをさまざまな角度から紹介する。他者理解に影響する諸要因を明らかにするとともに人に好かれる性質とは何かを探る。

★オンデマンド テーマ：臨時試験（中間テスト）の受験（45分程度）

臨時試験（中間テスト）の解説を試験終了後に各自のメールに配信する。第2回～第6回の講義の内容から出題する予定である。実施日や実施方法については第1回および直前の講義で説明する。

第8回 テーマ：動機づけ ～エネルギーのもとは何？～

人間の行動の原動力となる動機・やる気のメカニズムとその発現について解説・実習する。

第9回 テーマ：欲求不満と葛藤 ～人はどのように我慢する？～

欲求の充足が阻害される状態における人間の行動と心理について解説する。

第10回 テーマ：社会的感情 ～社会の中で生きる～

社会の中で生きる人間が持つ様々な社会的能力について解説する。感情の理解、思いやり等を中心に学習する。

第11回 テーマ：ストレスと防衛機制

様々なストレスが人間に与える影響と、ストレスに負けずに健康を維持しようとする際の体と心のメカニズムについて述べる。

（任意課題）テーマ：不適応行動に至る発達過程とは（詳細については授業内で説明する）

第12回 テーマ：発達の偏りと多様性

発達障害についての概念を学び、その多様性と共生について事例を参照しながら考える。

（任意課題）テーマ：発達障害について考える（詳細については授業内で説明する）

第13回 テーマ：文化と教育 ～外国にルーツのある子どもたち～

日本語教育と必要とする児童生徒の実態を紹介し、文化的マイノリティーと学校文化について考える。

第14回 テーマ：文化とジェンダー

「～らしく」という文化的・社会的制約が人々の思考や行動に与える影響について考える。

★オンデマンド テーマ：第8回～第14回の講義内容の振り返りとまとめとして、臨時試験(学期末テスト)の受験(45分程度)

臨時試験(期末テスト)の解説を試験終了後に各自のメールに配信する。実施日や実施方法の詳細については第1回および直前の講義にて説明する。

事前・事後学修／Preparation and assignments

【事前学修】・事後学習のために必要な時間は各2時間である。授業前にMoodleにアップされる資料に目を通し、わからない単語などは事前に調べるなどして臨むことが望ましい。

【事後学修】：授業資料を復習し、関連する文献や資料を調べるなどして知識を積み上げていくようにすること。

第1回 テーマ：ガイダンス ～序章 文化と心理学～

〔事前学修〕：シラバスを確認し、履修を確認する。

出席とクイズ、テストなど評価方法について確認すること。

〔事後学修〕：講義のポイントをノートに整理する。Moodleにある課題に回答する。

第2回 テーマ：記憶 ～覚えること 忘れること～

〔事前学修〕：日頃記憶を使用して行っている事柄をピックアップしておく。

〔事後学修〕：講義のポイントをノートに整理する。Moodleにある課題に回答する。

第3回 テーマ：性格 ～あなたはどんな人～（1）

〔事前学修〕：自分にどのような内面的特徴があるか考えておく。

〔事後学修〕：講義のポイントをノートに整理する。Moodleにある課題に回答する。

第4回 テーマ：性格 ～あなたはどんな人～（2）

〔事前学修〕：自分にどのような内面的特徴があるか考えておく。

〔事後学修〕：講義のポイントをノートに整理する。Moodleにある課題に回答する。

第5回 テーマ：発達（1）～赤ちゃんの能力～

〔事前学修〕：自分の子供時代を思い出しておく。また親から話を聞いておく。

〔事後学修〕：講義のポイントをノートに整理する。Moodleにある課題に回答する。

第6回 テーマ：発達（2）～こどもから大人へ～

〔事前学修〕：前回の（1）の講義内容を復習し、自主的に情報を収集する。

現在の自分の状態について考えておく。また将来についても考えておく。

〔事後学修〕：講義のポイントをノートに整理する。Moodleにある課題に回答する。

第7回 テーマ：対人認知 ～あの人はこんな人～

〔事前学修〕：他人に印象を持つ時を思い出しておく。ステレオタイプなど思い込み行動について調べる。

〔事後学修〕：講義のポイントをノートに整理する。Moodleにある課題に回答する。

★オンデマンド テーマ：前半の振り返りとして、オンデマンドのテストを行い、理解状況を確認する。（45分程度）

〔事前学修〕：配布されるまとめPDFや、これまでのノートなどを見直し、知識を系統的に整理しておく。

〔事後学修〕：フィードバックされた解説を見て、学ぶべき箇所は自身で調べ学習を行い理解を定着させる。

第8回 テーマ：動機づけ ～エネルギーのものは何？～

〔事前学修〕：「～たい」気持ちはどのような時に感じられるか、思い出しておく。

〔事後学修〕：講義のポイントをノートに整理する。Moodleにある課題に回答する。

第9回 テーマ：欲求不満と葛藤 ～人はどのように我慢する？～

〔事前学修〕：人をやる気にさせるものは何か自分の経験を振り返っておく。

〔事後学修〕：講義のポイントをノートに整理する。Moodleにある課題に回答する。

第10回 テーマ：ストレスと防衛機制

〔事前学修〕：我慢した経験、ストレスの発散方法について思い出しておく。

〔事後学修〕：講義のポイントをノートに整理する。Moodleにある課題に回答する。

第11回 テーマ：社会的感情 ～社会の中で生きる～

〔事前学修〕：同調行動や援助行動について調べておく。

〔事後学修〕：講義のポイントをノートに整理する。Moodleにある課題に回答する。

（任意課題）テーマ：不適応行動に至る発達過程とは
詳細については授業内で説明する。

第12回 テーマ：発達の偏りと多様性

〔事前学修〕：自閉症、ADHD、SLDなどを取り上げるので、自主的に調べ学習をする。

〔事後学修〕：講義のポイントをノートに整理する。Moodleにある課題に回答する。

（任意課題）テーマ：発達障害について考える
詳細については授業内で説明する。

第13回 テーマ：文化と教育

〔事前学修〕：日本の小中高等学校生活の特色を思い出しておく。いじめ、不登校について調べておく。

〔事後学修〕：講義のポイントをノートに整理する。Moodleにある課題に回答する。

第14回 文化とジェンダー

〔事前学修〕：男性と女性の立場について、自身の経験や周囲の人の話を聞いておく。海外の情報も調べる。

〔事後学修〕：講義のポイントをノートに整理する。Moodleにある課題に回答する。

★オンデマンド テーマ：後半の振り返りとして、オンデマンドのテストを行い、理解状況を確認する。（45分程度）

〔事前学修〕：配布されるまとめPDFや、これまでのノートなどを見直し、知識を系統的に整理しておく。

〔事後学修〕：フィードバックされた解説を見て、学ぶべき箇所は自身で調べ学習を行い理解を定着させる。

授業の到達目標／Expected outcome

- ・心理学、文化心理学の代表的な知見について理解し、客観的な視点から科学的知識を用いて人間の思考や活動についてみるができるようになること。
- ・新しく学習した知識を用いて、現実の社会問題に対する意見を持ち、発信する力を持つことができるようになること。

身につく資質・能力／Competencies to be attained

- ・思考力
- ・幅広い教養

履修上の注意／Special notes, cautions

- ・授業中にアンケートや質問紙に回答してもらうことがあるため、スマートフォンやPC、タブレットなどの電子機器を持ってくること。
- ・毎回理解度の確認のために小テスト（出席とクイズと呼ぶ）を行う。これによって各回のテーマの理解度と学修完了条件の確認を行う。
- ・上記の小テストの提出回数が全講義の2/3以上ない場合、評価は「/(出席日数不足)」とする。
- ・第7回後に臨時中間テスト、第14回後に臨時期末テストをオンデマンドにて行う。両テストを受験することが必須である。

評価方法／Evaluation

- ・臨時試験（オンライン形式）約50%と各回の課題回答分（約40%）、ミニレポートや他課題（10%）とで総合的に評価する。
- ・各回の理解確認課題（Google Form）については、毎回フィードバックを行う。

教 材／Text and materials

- ・各回の授業でMoodleにアップされるPDF資料を確認して授業を受けること。
- ・その他に授業内において参考文献を適宜紹介する。

質問や相談の方法／Instructor contact

- ・授業に関する質問や相談などがある場合は、授業終了後に質問するか、初回授業時に連絡するメールアドレスへ質問すること。
- ・その場合は、所属・氏名を明らかにすること。